



## 益々のご活躍を！ ～ i Animo para siempre!～

### 2017年度永年功労表彰式の開催について

5月13日(土)船橋市公民館会議室において、2017年度永年功労表彰式を開催いたしました。

本年度から10年表彰は記念品を送付し、20年表彰と30年表彰は当日ご出席いただきました表彰者の皆様に山岸委員長より記念品として表彰盾が贈られました。残念ながらご都合でご欠席された方々には後日発送にてお届けいたしました。

#### 《10年表彰者》

173名(記念品として10年表彰トスコインを送付)

#### 《20年表彰者》

三好 正次氏、大日向 明知雄氏、金子 秀之氏、  
小林 隆子氏、高橋 一氏、榎本 清之氏、大西 正一氏

#### 《30年表彰者》

青木 譲氏、住沢 武美氏



当日ご出席いただいた皆様  
(前列左から 三好氏、山岸委員長、高橋氏、  
後列左から 大日向氏、金子氏、小林氏)

表彰者の皆様よりお言葉を頂戴しましたのでご紹介いたします。

#### ● 大日向 明知雄(おおひなた あちお)氏

本日はありがとうございます。私は県の割り当ては最近受けていないのですが、習志野市では3種を中心に、時には2種なども担当させていただいています。「継続は力なり！」ではありませんが、何とか頑張って若い皆と楽しんでやりたいと思います。よろしくお願いします。

#### ● 金子 秀之(かねこ ひでゆき)氏

私が審判資格を取ったのは中学校3年生の時、この5月で36歳になるのですが、まだあと10年は頑張れるかな?と思っています。これからもよろしくお願いします。



大日向氏



金子氏

#### 目次

・2017年度永年功労表彰式	・・・1～2	・試合前の「打ち合わせ」について	・・・10～12
・決勝審判員インタビュー	・・・3～5	・推薦審査、昇級認定審査のお知らせ	・・・13～16
・今日も地域で頑張っています！！	・・・6	・講習会のお知らせと申込について	・・・16
・ユース&若手審判員研修会のお知らせ	・・・7	・強化部より～報告と紹介～	・・・17
・昇級者のみなさま	・・・7	・都市協会だより	・・・18
・レフェリーフィットネスコラム	・・・8～9	・その他お知らせ	・・・18



● **小林 隆子(こばやし たかこ)氏**

本日はありがとうございます。私は学生時代にあまり運動をしていなくて華道部や美術部という文化系でしたので、まさかこんなに永く審判をするとは思っていませんでした。やはり一番最初に出会った山岸さんというか馬場さん(山岸委員長の旧姓)との付き合いでこれまでやってこれたのかな?と思います。本当にありがとうございました。



● **高橋 一(たかはし はじめ)氏**

私も審判を始めたのは地域の少年サッカーの立ち上げで「審判がないからやってくれない?」と言われて地元の方々とも知り合いになり3級を取り、何とか今まで続いています。ただ2年前に腰を痛めて手術をした関係で県の派遣審判は無理なのですが、地元の小学3年生と一緒に活動して、今は彼らに遊ばれています(笑)。今後もよろしくお祈りします。



● **三好 正次(みよし まさつぐ)氏**

千葉県のサッカー協会でも永年表彰があるということで30年表彰には1年足りなかったのですが、20年表彰も可能という事で今回表彰して頂く事になりました。審判は1988年から続けていますが、実は1967年に関西で19歳の時に当時3級は講習を受ければ良かったので取って3年ほど活動しましたが、転勤で東京に来て失効してしまいました。その後子供がサッカーを始めたので活動を再開し、2級も目指したかったのですが地元にしかりした審判組織がなかったため、審判協会もつくり現在に至っています。あと1年で30年になるので、来年は70歳になりますが、まだ頑張りますのでよろしくお祈りします。

当日、都合によりご欠席された方々からメッセージを頂きましたので、ご紹介いたします。

● **青木 譲(あおき ゆずる)氏**

「審判資格取得から30年と自分でもよくやってきた。」と感じております。当初は「チーム帯同審判」としてチーム登録用に取得したのがきっかけでしたが、選手として30年プレーし、いざ指導者としてレフェリーを行うと審判員の苦勞が解ってきたように感じます。これまで私が選手としてプレーをし、レフェリングをされてきた方々にはこの場をお借りして「ありがとうございました。」と感謝の気持ちです。今までは選手としての立場で異議を申ししてきましたが、今は選手の立場も考えながら笛を吹ければと思います。体力的にも厳しい年齢になりますが出来る限り選手達に迷惑をかけないよう笛を吹ければと思います。今後とも審判委員会の益々の発展をお祈りいたします。

● **住沢 武美(すみさわ たけみ)氏**

3月末で教員生活が定年退職となったのを期に、審判活動も区切りをつけることに致しました。自分ではまだまだ吹ける自信はあるのですが、後輩諸君に託したいと思っております。今までお世話になりました2種・3種の関係者の皆さんに改めてお礼を申し上げます。また、今後も千葉県サッカー協会および貴審判委員会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

● **榎本 清之(かしもと きよゆき)氏**

子供が小学1年生で木更津市の高柳FCに入部する際にコーチと一緒に入部し、半年後に4級審判員を取得し、それから22年間。今後も更新していければと考えています。本日は、ありがとうございました。

**山岸委員長祝辞**

本日は誠にめでたうございます。お話を聞いて継続することは非常に大変なことだと思います。やはり、身体もそうですが心が若い方はいつまで経っても若いのだな!と思いました。みなさん大先輩ですが、県の派遣審判が難しくなっても色々な場で審判はつながりが持てると思います。高橋さんもおっしゃっていましたが、子供たちと一緒に!とか、若い審判員を地元で教えるとか、改めて皆さまのような方が審判活動を支えて頂いているのだと感じました。これからも審判委員会を暖かく見守っていただきたいと思ひますし、是非皆さまの豊富な経験を生かしてアンバサダーのような存在になっていただきたいと思ひます。これからもよろしくお祈りします。